

看護あきた

Nursing Akita

Vol.96

平成21年度 1号

わたしのまちの看護師さん「こまち」紹介

[シリーズ 認定看護師]

- ◎会長あいさつ
- ◎看護職副院長に就任して
- ◎平成21年度 秋田県看護協会通常総会
特別講演レポート
- ◎平成21年度 新理事・監事紹介
- ◎平成21年度 理事・監事・地区支部長
常任・特別委員一覧
- ◎シリーズ在宅看護
- ◎「看護の日」事業報告
- ◎シリーズおらほの施設自慢
- ◎会員から協会へ何でもメッセージ
- ◎事務局からのお知らせ



秋田県看護協会 会報

会員数

平成21年7月1日現在

6,569名

保健師 265名

助産師 313名

看護師 5,603名

准看護師 388名

表紙／わたしのまちの看護師さん
[シリーズ認定看護師]
「こまち」紹介
菊地香織さん
市立秋田総合病院 外科病棟
[P2]



目次

Contents



2

わたしのまちの看護師さん [シリーズ認定看護師]

「こまち」紹介

1 会長あいさつ (社)秋田県看護協会 会長 烏 トキエ

3 看護職副院長に就任して

医療法人 小泉病院 齋藤 京子



4 平成 21 年度 秋田県看護協会通常総会報告

5 特別講演「看護職の確保・定着をすすめるために」たかがい恵美子氏

6 平成 21 年度 新理事・監事紹介

8 平成 21 年度 理事・監事・地区支部長 常任・特別委員一覧

9 シリーズ在宅看護 -1 訪問看護ステーションあきた

10 「看護の日」 事業報告

12 シリーズおらほの施設自慢 -24
リンデンバウムいずみ

13 会員から協会へなんでもメッセージ

14 事務局からのお知らせ



紫陽花の花も美しい季節となりました。皆様には新年度の事業に邁進しておられることとお察しいたします。会長に就任し、まもなく1年を迎えようとしておりますが、20年度は皆様のご支援、ご協力により、各事業とも成功裏に終了できましたことに心より感謝申し上げます。

去る5月18日から20日、新型インフルエンザの厳戒体制の中、新潟県朱鷺メッセにおいて21年度日本看護協会総会が開催されました。久常会長の、「看護職能団体としての使命を明らかにし、組織の力を強化して専門性を発揮しよう」との意図を踏まえ、重点事項としては、看護基礎教育の改革と卒後研修制度の創設、働き続けられる労働条件・労働環境づくり、三職能の役割の拡充が提示されました。また、新公益法人化に関する「基本理念」や「あらたな社団法人の骨子について」の2議案に対して、意見や質問が集中しましたが審議を尽くした結果、原案どおり採択されました。この2つの議案については、当協会としても皆様にご理解いただけるよう説明が必要と感じております。

また、看護職の健康・安全を守るための「ナースのかえるプロジェクト」が提案されました。これは、2人の若い看護師の過労死を受け、日看協が実態調査を実施した結果を踏まえた提案であり、二度と悲しいことを繰り返さないためにも、看護職自らが取り組むべきことと受け止めました。

秋田県看護協会では、21年度重点事項として、組織強化、質の高い看護の提供、医療安全対策の推進、災害看護支援体制の確立、訪問看護の充実、看護職確保定着推進を提示しております。公益法人化については準備委員会を設置して検討を進める予定です。また、事務局に事業部長と専任教育担当者を配置し、教育研修事業の充実強化を図るとともに、委員の安全保障体制のための賠償保険制度や、認定看護師研修会、会員交流会などを新たに計画しました。さらに、医療施設と福祉施設、訪問看護ステーションなどとの職種間連携を図るための看護管理者研修や、非会員施設への働きかけなどに取り組む予定です。

看護職員が働き続けられる職場環境づくり、離職防止については、日本看護協会のデータや、当協会看護師職能委員会の実態調査結果、秋田県のデータなどを検討し推進する予定です。

医療を取り巻く環境が激変する中で、看護協会は、看護職が専門職としての役割を果たせるよう進化、発展していくことが求められると思います。協会では今後とも、会員の皆様と共に、魅力的な事業を展開してまいりますのでよろしくお願いいたします。



会長

あいさつ

秋田県看護協会会長

鳥

トキエ

「こまち」紹介

「今回からスタートの新企画」

あなたのまちで、いきいきと輝く笑顔で働く看護師さんに焦点を当てて、いま、イチ押しの看護師さんを紹介するコーナーです。初回は、看護の専門性をたゆみなく探求し続ける認定看護師さんをご紹介します。

菊地 香織さん

こまち File No.01

市立秋田総合病院 外科病棟
認定看護師分類／皮膚・排泄ケア

なぜ認定看護師を目指そうとしたのですか？

看護の専門性を追求したいと考え、また、学生時代にETナースの講演を聞き、憧れました。

取得するまでに一番辛かったことは？

約6年という看護経験も浅い状態で認定看護師を目指したので組織の中で活動していけるだろうか、実習中に特に悩み辛かったです。また、認定試験までの仕事と勉強の両立、また、試験合格までプレッシャーを自分自身感じていましたので、そのことが辛かったと思います。

取得して良かったと思うことは？

分野に関わる患者様から感謝の言葉を頂くことや病院のスタッフから相談を受けたりすることです。

この資格をとって、次にやりたいことは何ですか。またこの資格をどう活かしたいですか？

私は現在、ストーマ造設患者様や褥瘡患者様、失禁患者様のケアをさせて頂いています。それには3領域に共通するスキンケアが重要となっていますが、知識も観察力も未熟なので、今後、皮膚に関する知識を高め、ケアに繋げていきたいと思っています。

資格をとろうかと悩んでいるナースに一言。

迷っていたら、挑戦してみる価値は十二分にあると思います。日々悩むことだらけですが、色々な経験が自分自身の力になると思いますので、意欲を持って目指してもらいたいです。また、全国に認定看護師の仲間がいるので、色々学ぶこともでき、励みにもなると思いますので、目指している方はぜひ頑張ってもらいたいです。



看護職副院長に就任して

平成20年6月秋田県では初めての副院長兼看護部長として就任し、1年経過しました。

現職のお話を頂いた時は、患者さんと触れ合うことが出来る最後のチャンスと安易に考え就任した次第です。この1年間を振り返り副院長の成果責任を考えてみたいと思います。

当病院は一般と療養病床のケアミックス型の小規模病院です。病院の機能を維持するには規模の大小に関わらず業務内容は多様です。

7時55分から5分間の朝礼で1日がスタートします。私の役割は病院の目標達成に向けて全職員が一つになって進んでいけるようマネジメントすることと考え、次の点について実践しています。①各部門責任者会議時、診療報酬上クリアしなければならない情報を提供し協力を求める②他職種からの相談や要望に対して共に検討し、行動する③委託業者との連絡・調整等院長の方針を受け成果を形に示すよう心がけています。職員の6割以上を占めている看護職に対しては「**看護が変われば病院が変わる**」ことを信じ、指導に力が入ります。トップダウンのみでは職務満足、看護サービスの向上につながらないと考え、個人面談やアンケート調査し、意見を反映するようにしています。時には「アメとムチ」を使うこともあります。1年間の成果をみると系統だった委員会活動、研修会参加者の増加、看護協会の増加等です。又病院当局への働きかけにより待遇改善が得られたことも大きいと実感しております。夜勤職員の確保や人材育成など課題は山積しておりますが、目標を共有し「**働く喜び**」を実感し合えるような職場作りに貢献できるよう微力ながら進んでいきたいと思ひます。

今後看護職副院長の誕生が続き、連携することで、秋田県の看護の向上につながることを信じています。



医療法人 小泉病院
齋藤 京子



看護が変われば
病院が変わる

通常 総会

「使命・活動理念の達成を目指そう」

－看護の質の向上、職場環境づくりの推進、
ニーズに応える看護領域の開発・展開－

平成21年度秋田県看護協会通常総会が6月4日(木)秋田県総合保健センター大会議室で開催された。県内各地より381名の参加者と5081名の委任状を含め、計5462名をもって総会成立宣言がされた。

はじめに、烏トキエ協会会長より「日本看護協会では、公益社団法人化に向けての準備が進められ、基礎看護教育の改革と卒後臨床研修制度の創設、働き続けられる労働条件・環境づくり、三職能の役割の拡充を揚げていく。また特に公益社団法人化では、基本理念に政策提言を盛り込むことになること、それに伴い秋田県看護協会では、教育事業全般や各委員会、地区支部などの組織や構造を見直し、秋田県看護協会が職能団体として何を指すか、公益事業として何をするかであり、時代のニーズが変化するなか会員・理事・委員会の皆様と共に考えていかなければならない」と挨拶された。

今年度の会員表彰受賞者は86名で、鹿角組合総合病院の八幡和子氏が代表の謝辞を述べられた。また名誉会員には、藤井俱枝氏、三浦睦子氏、佐々木和子氏が推薦され名誉会員証が授与された。

議長団選出の後、各委員会の報告、提出議題の検討がなされ、すべて可決承認された。

平成21年度のスローガンは、「使命・活動理念の達成を目指そう」－看護の質の向上、職場環境づくりの推進、ニーズに応える看護領域の開発・展開－に決定し、それに伴う事業計画が提示され承認された。今年度の新規事業としては、協会組織および事務局体制の強化、秋田県看護協会創立60周年記念誌編纂事業、個人会員への支援、理事・各委員への安全保障体制の整備、看護研究の支援、災害看護支援体制の強化、認定看護師の活動強化、看護職員再就職への支援があげられ、活発な意見交換が行なわれた。

その後、新旧役員が紹介され、新役員へとバトンタッチされた。最後に出席者全員で「日本看護協会綱領」の宣言と協会歌「光 求めて」を斉唱し終了した。

(記事：広報出版委員 目黒)



特別講演

イメージカラーであるブルーの衣装を纏い、
颯爽と登場した「たかがい恵美子」さん

「看護とは、私にとって太陽である。太陽は人をあたたかくしてくれる。たくましく育ててくれ、生きようとする力を支えてくれる存在だから。」と冒頭に語られた。



【講演内容】

社会保障の担い手として働いている私たちが、人口減少や小児化、超高齢化など多くの不安を持つ時代を過ごす中で、どうやって看護職の仲間を増やし、いかにして看護職の定着化をすすめていくのが課題である。看護を魅力ある専門職にするためには、明るく、豊かで楽しく働く環境が必要である。

課題を克服するためには、まず私たちが看護そのものを見つめなおす必要がある。

それは、私たちが行なっているサービスに対する報酬について、もっと理解を深めることや、3年後、5年後どうなっていくのか、どうありたいかなど未来を予想していくことが前提となる。

次に自分たちがより働きやすい環境を得るために、私たちが頑張っていること、望むことなどを身近な人に話して、自分たちの理解者を増やしていくことが大切である。

更に、看護職が現場を離れる理由と離職者が戻らない理由には、夜勤や長時間勤務の負担大があげられる。

離職率の減少や休業中の有資格者が、看護職として再就業できる支援が重要である。

子育て時代の就業が低いことと考え合わせると、短時間正社員制度や余剰人員リリーフ体制の導入などが有効であり、取り入れた先事例では、効果的な対策となっている。

更に浸透させていくためには、私たちが現状と今後の体制について理解を深め、働く場を醸成していかなければならないと熱く語られた。

【講演全体をとおして】

「こんなふうになればいいな」と願うことが多く、これからの体制づくりに希望をもった人も多かったと思う。子育てや健康問題、親の介護など様々な事情を抱える中で、「このくらいなら働ける」という職場を持てたら、看護職を選んだことは間違いでなかったと思えるのではないかな。

最後に「安らかな看取り」を看護師が行なうことができるようになること…

いつかそれが現実となったら、専門職としての力量も問われるが、看護の本来の姿が見えてくると感じさせられた講演内容だった。

(記事：広報出版委員 伊藤)

看護職の 確保・定着を すすめるために



講師●
たかがい恵美子さん
プロフィール

学歴／埼玉県立衛生短期大学／埼玉県立衛生短期大学専攻科／東京医科歯科大学大学院博士課程 等

主な職歴／急性期医療：社会保険埼玉中央病院、虎の門病院で、外科、血液内科等病棟で急性期チーム医療に従事

地域保健：宮城県の保健所、精神保健福祉センターで障害者と家族の保健指導に従事

研究教育：東京都老人総合研究所、結核研究所、東京医科歯科大学講師等

国際保健協力：中央アフリカ共和国でHIV感染の予防教育と感染者ケアを实践

厚生労働省：保健師等の増員5カ年計画の実現、がん対策アクションプラン2005とりまとめ、診療報酬改定で7対1の創設、褥瘡ハイリスク患者ケア加算など看護技術の評価の創設、訪問看護事業の再活性化方針の提案等を達成。

平成21年度 新 [理事]



第二副会長

由利本荘市
三浦 令子

このたび、第二副会長の任を再び担うことになりました。超高齢社会に入っている今、私達の活動現場は保健・医療・福祉制度改革の大きな流れの中にあり、現場を支えている看護職への期待が年々高まっていることを感じております。私達一人一人の力は弱いですが、このような厳しい時こそ会員の力を結集し、秋田県看護協会として、他の関係団体と共に、社会の期待に応えていかなければならないと思っております。秋田県看護協会の公益法人化に向けた取り組みもはじまります。皆様のご支援を力に、こうした課題に取り組んでまいりたいと思っております。



教育理事

秋田県看護協会 事業部
宇佐美 正子

このたび、教育理事の大任を努めさせていただくことになりました。

看護の専門性が問われ、同時に看護の質向上が一層求められる時代を迎えております。医療や看護の社会情勢を鑑みながら、新人看護職員から経験豊富な看護職員まで、多様な職場に勤務する皆様のニーズに応えられると同時に、現場を離れている方も永年資格を生かして、さらに自己成長につながるような教育運営を目指して、任務を果たしていきたいと考えます。



常務理事

秋田県看護協会
佐藤 潤子

先日の総会には理事の皆様はじめ各委員、会員の皆様方のご協力、本当にありがとうございました。21年度事業がいよいよ本格始動です。常務理事として4年目に入りますが、これまで同様、皆様からのご意見、叱咤を頂き前進して参りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。これまで県や他団体の会議等に出席する機会が多く、協会がいかに期待されているかを実感させられています。他団体との連携の輪を広め、会員に組織の魅力をアピールすることが重要と感じています。組織が大きく変わるこれから、協会が公益法人として「だれのため」「何をなすべきか」皆様と一緒に考えていきたいと思っております。



保健師職能理事

秋田市
岸 マサ

地域の健康づくりに38年、看護教育に4年と携わりました。その間、看護協会会員として年を重ね、そこでお世話になり、また、教わったことがたくさんありました。そこで得たものが、今の私の支えになっていると実感しています。今回、理事として協会組織に身を置くことは、そのときの感謝の気持ちです。

保健師活動の“みて、きいて、つないで、うごかして、つくって、みせる”を発揮するための基盤整備を会員の皆様とともに、これまでの経験を少しでも活かし、さぐっていききたいと思います。また、日頃の皆様の活動を会員の皆様に伝え、楽しさ共有し、次へと繋いでいくことを私の役目とし務めていきたいとおもいます。皆様のご指導、ご協力よろしくお願ひいたします。



書記理事

秋田市
佐藤 光子

我が国の保健医療福祉は大きな変革の真ただ中にあります。看護職能団体として解決すべき課題は多くあると考えられます。日本看護協会の示す看護協会の使命・活動理念・基本戦略を踏まえ、秋田県看護協会として目指す活動方針の実現に微力ながら書記理事としてできることを精いっぱい務めたいと思っております。看護協会は看護協会会員だけでなく一般県民の方々にも今まで以上に頼りにされるような看護職能団体であるために皆様のご指導をいただきながら役割を果たしたいと思っております。どうぞ皆様のご支援をお願いいたします。



助産師職能理事

秋田組合総合病院
荒川 きよみ

このたび、助産師職能理事を務めさせていただくことになりました。大役の重責に身が引き締まる思いです。

社会状況は、少子化傾向が強くなる助産師として、どう対応したらよいか協会の事業に参加させていただき、諸先輩や役員の方々の御指導のもと役割が果たせるよう一生懸命頑張りたいと思っております。

不安と緊張でいっぱいです。会員の皆様からのご指導ご協力ご支援よろしくお願ひいたします。

監事] 紹介



鹿角地区理事

鹿角組合総合病院
川又 留以子

このたび鹿角地区理事を務めさせて頂くことになりました。
これまで、会員として地区の協会活動にかかわってきましたが、理事という役割、また責務の大きさに不安を感じております。
これを機会に看護協会理事としての組織・役割を把握し、会員の皆様の御協力、御先輩方のご指導の下にその責務を果たすよう努力していきたいと思っております。
又、医療情勢が厳しい中、より多くの会員、県民の方に看護協会の活動を知って頂き、今後更なる強化発展と活動の運営に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



能代・山本地区理事

秋田社会保険病院
佐々木 冷子

このたび能代・山本地区副支部長および理事を務めさせて頂くことになりました。各医療機関及び福祉施設の皆様方のご協力により、よりいっそう看護協会の目的達成のため活動していきたいと考えております。また専門職としてよい勉強の機会を与えていただいたと感謝いたしております。諸先輩方や役員の方々のご指導の下に、理事会で学んだ事や決定事項を生かせるように、協会と地区のパイプ役になれるよう、頑張つて責務を果たしたいと思っておりますのでどうぞ、よろしくお願い致します。



大館地区理事

秋田県看護福祉大学
佐藤 孝

このたび、大館地区理事としてのご承認をいただき任務を担当することになりました。私は4年前の理事の経験から、組織の中核である理事会のメンバーとしての責務の重大さを思い起こし、再び意を新たに気持ちを引き締めております。変化する社会情勢の保健医療福祉への要請に応えるべく、職場環境や勤務体制、看護教育、組織強化、政策参加 などなど職能団体として抱える課題は多岐・山積しています。県民のために会員一人ひとりの思いやアイデアが反映される秋田県看護協会を目指し、地区とのパイプ役として頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



秋田臨海地区理事

秋田県立脳血管研究センター
伊藤 真紀子

このたび、臨海地区理事を務めさせて頂くことになりました。十数年ぶりに看護協会の活動に参加することになり、責任の重さをひしひしと感じ、身が引き締まる思いです。が、普段の業務とはまた違った経験や出会いを楽しみにしているところでもあります。
これからの2年間、一日看護体験や老人看護月間などの様々な活動を通して、地区支部と理事会のパイプ役として、協会員の皆様に還元できるよう努力していきたいと思っておりますのでどうぞご指導、ご協力を宜しくお願い致します。



北秋田地区理事

グループホームバンドー北欧の里
松橋 祐美子

北秋田地区支部・副支部長及び理事を務めさせて頂くことになりました。
昨年、長年務めていた公立米内沢総合病院を退職し、現在「認知症対応型協同生活GH」にケアマネ・管理者・看護師として勤務しております。
支部の会計に引き続き副支部長をおおせつかり、戸惑いながらもお受けすることになりました。
支部では職の悪条件が続き、退職者も増え、自ずと会員を辞めてしまう方も多くなってきています。
自分自身、医療施設に勤務していず、このお引き受けした任の責務がどのようなのか模索しながら進んでいくことになると思っておりますが、継続することになった地区支部役員経験を生かし、看護協会の存在をアピールできる活動の情報源になれるよう頑張っていきたいと考えています。



監事

男鹿市
加藤 百合子

再び監事を引き受けることになりました。
よろしくお願い致します。
新しい公益法人制度の監事の職務と権限に、責務の重大さを痛感しております。
看護協会は会員の皆様よりどころではありますが、公益性も要求されております。社会に要請、期待される看護職能団体として、協会事業が適正に行われますように、監事の任務にあたりたいと思っております。
知識不足の点は、皆様のご指導をいただきたいと思っております。

役員名簿

●印:委員長

理事・監事

役職名	氏名	職種	所属施設名
会長	烏 トキエ	看	秋田県看護協会
第一副会長	佐藤 ヨシ	助	秋田市
第二副会長	三浦 令子	保	由利本荘市
常務理事	佐藤 潤子	保	秋田県看護協会
書記	佐藤 光子	看	秋田市
会計	福田 幸子	看	由利本荘看護学校
教育	宇佐美正子	看	秋田県看護協会
保健師職能	岸 マサ	保	秋田市
助産師職能	荒川きよみ	助	秋田組合総合病院
看護師職能	三浦ノリ子	看	潟上市
鹿角	川又留以子	看	鹿角組合総合病院
大館	佐藤 孝	保	秋田県看護福祉大学
北秋田	松橋祐美子	看	グループホーム「ノ」-北欧の里
能代・山本	佐々木冷子	看	秋田社会保険病院
秋田臨海	伊藤真紀子	看	秋田県立脳血管研究センター
由利本荘にかほ	柴田由美子	看	本荘第一病院
大仙・仙北	安藤恵美子	看	市立角館総合病院
横手	高階千江子	保	平鹿地域振興局
湯沢・雄勝	栗田千恵子	看	町立羽後病院
全区	佐々木吉明	准	花園病院
監事	佐藤 照子	看	土崎病院
監事	加藤百合子	助	男鹿市
監事	佐藤 順子	看	秋田組合総合病院

地区支部長

地区支部名	氏名	施設名
鹿角	田中 清子	鹿角組合総合病院
大館	菅原 留美子	大館市立総合病院
北秋田	北嶋 洋子	北秋中央病院
能代・山本	近藤 美喜	秋田しらかみ看護学院
秋田臨海	新野 隆子	秋田赤十字病院
由利本荘にかほ	佐藤 ミツ子	由利組合総合病院
大仙・仙北	大山 京子	大曲中通病院
横手	佐藤 セツ子	市立横手病院
湯沢・雄勝	小野 順子	町立羽後病院

常任・特別委員

●印:委員長

委員会名	委員名	職種	所属施設名
保健師職能委員会	●岸 マサ	保	秋田市
	高橋 久美子	保	秋田市保健所 保健予防課
	小松 京子	保	大仙市地域包括支援センター
	鈴木 明美	保	仙北地域振興局福祉環境部
	加賀美 忍	保	秋田組合総合病院
	鈴木 啓	保	にかほ市象潟保健センター
助産師職能委員会	●荒川 きよみ	助	秋田組合総合病院
	加藤 真弓	助	山本組合総合病院
	工藤 亜矢子	助	大館市立総合病院
	阿部 直美	助	由利組合総合病院
看護師職能委員会	小出 雪子	助	市立秋田総合病院
	遠藤 知子	助	中通総合病院
	●三浦 ノリ子	看	潟上市
	阿部 由紀子	看	秋田県立脳血管研究センター
	柿崎 美幸	看	市立横手病院
	佐藤 聖子	看	秋田組合総合病院
	鈴木 美佳子	看	仙北組合総合病院
	佐藤 園子	看	北秋中央病院
	石田 智里	看	土崎病院
	佐藤 多恵子	准	本荘第一病院
社会経済福祉委員会	●松橋 廣巳	看	公立米内沢総合病院
	佐藤 信子	看	中通総合病院
	石井 直子	看	秋田赤十字病院
	小野 寿美子	看	秋田大学医学部附属病院
	高橋 美紀子	看	仙北組合総合病院
広報出版委員会	●伊藤 淳子	看	秋田県立脳血管研究センター
	西村 真智子	看	外旭川病院
	佐々木 元子	保	市立秋田総合病院
	佐藤 精子	看	中通リハビリテーション病院
	佐々木 順子	看	山本組合総合病院
	目黒 祐子	看	秋田組合総合病院

委員会名	委員名	職種	所属施設名	
秋田県看護学会委員会	●工藤 由紀子	看	秋田大学大学院医学系研究科保健学科専攻	
	嶋田 純子	看	山本組合総合病院	
	沢田石 良子	看	外旭川病院	
	柴田 仁美	保	雄勝地域振興局福祉環境部	
	佐々木 由香	看	秋田市医師会立秋田看護学校	
	門脇 幸勇	看	秋田県太平療育園	
	船木 康子	看	秋田大学医学部附属病院	
	牧野 明美	看	秋田しらかみ看護学院	
	看護制度委員会	●下田 恵美子	看	秋田県成人病医療センター
		佐々木久美子	看	北秋中央病院
佐々木みよ子		看	杉山病院	
佐藤 千夜子		看	平鹿総合病院	
佐藤 さとみ		看	市立横手病院	
●猿田 久仁子		看	秋田赤十字病院	
佐藤 弘子		助	「ひろっこ」母乳と育児の相談室	
大村 泰子		看	市立秋田総合病院	
千葉 孝子		看	秋田労災病院	
佐藤 多恵子		看	由利組合総合病院	
教育委員会	塩谷 由美子	看	大館市立総合病院	
	秋元 静香	看	秋田組合総合病院	
	阿部 美賀子	看	平鹿総合病院	
	加藤 美由紀	看	秋田社会保険病院	
	大高 恵美	看	日本赤十字秋田看護大学	
	遠藤 睦子	保	潟上市役所昭和庁舎	
	宇佐美真裕美	看	秋田県成人病医療センター	
	柿崎 かおる	看	中通総合病院	
	近藤 多美子	看	秋田県立脳血管研究センター	
	高橋 悦子	看	仙北組合総合病院	
在宅看護研修委員会	●舩谷 誠子	看	能代市	
	石川 セツ子	看	訪問看護ステーションあきた	
	佐々木 雅子	看	由利組合総合病院	
	田中 頼子	看	五城目町社会福祉協議会	
	鎌田 津賀子	看	中通訪問看護ステーション	
	●佐藤 タツ子	助	雄勝中央病院	
「看護の日」委員会	石川 瞳	看	男鹿みなと市民病院	
	村田 淳子	看	秋田県立脳血管研究センター	
	鶴田 こずえ	看	市立角館総合病院	
	尾山 久美子	看	大館市扇田病院	
	●田口 牧子	看	秋田社会保険病院	
	齋藤 京子	看	小泉病院	
認定看護管理者教育運営委員会	白川 秀子	看	秋田大学医学部附属病院	
	佐藤 田鶴子	看	由利組合総合病院	
	佐々木理恵子	看	日本赤十字秋田看護大学	
	宇佐美 正子	看	秋田県看護協会	
	●菅原 美智子	看	大館市立総合病院	
	石川 セツ子	看	訪問看護ステーションあきた	
訪問看護ステーション運営委員会	平野 和子	看	市立秋田総合病院	
	畠山 玲子	看	男鹿みなと市民病院	
	武田 喜代子	看	やすらぎの郷	
	今野 笑子	看	秋田大学医学部附属病院	
	●木嶋 しげ子	看	由利組合総合病院	
	木村 志保子	看	鹿角組合総合病院	
[特別委員会] 災害看護委員会	新田 広子	看	平鹿総合病院	
	山岡 ふき子	看	秋田赤十字病院	
	越後谷 和美	看	秋田組合総合病院	
	●佐藤 ヨシ	助	秋田市	
[特別委員会] 秋田県看護協会創立60周年記念誌編集委員会	高橋 コウ	看	秋田市	
	太田 敦子	保	秋田地域振興局福祉環境部	
	佐々木 吉明	准	花園病院	
	●三浦 令子	保	由利本荘市	
[特別委員会] 法人改革準備特別委員会	石黒 博子	看	中通総合病院	
	菅原 富貴子	看	大館市立総合病院	
	佐藤 やよい	看	秋田組合総合病院	
	大山 京子	看	大曲中通病院	
推薦委員会	杉山 満芳	看	秋田市	
	●沢木 みわ子	看	秋田県成人病医療センター	
	秋元 厚子	看	北秋田市	
	近藤 昌子	看	山本組合総合病院	
	菅原 紀代美	看	杉山病院	
	工藤 順子	看	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター	
石川 孝子	看	雄勝中央病院		

シリーズ
①
看護

在宅



訪問看護ステーションあきた

管理者石川セツ子

「訪問看護ステーションあきた」は、秋田県看護協会立ステーションとして活動をはじめてから、早14年目を迎えることができました。これも会員の皆様方のご支援ご協力の賜物と深く感謝いたします。

開設当初は利用者17名から事業を開始しましたが、現在月平均約130名の利用者から依頼を受け、訪問看護サービスを提供しております。また、介護保険での諸サービスを調整する役割として、ケアマネジャーを配置し居宅介護支援事業所を併設しております。必要なときに必要な訪問看護サービスを迅速に提供できること、24時間体制における緊急時の迅速な対応等を、当事業所のモットーとして活動しております。

訪問看護は、原則1人の訪問看護師が訪問して看護判断をし、看護・医療行為を行う事が多く、責任も大きいのですが、「個別的に合わせた看護ができる」等、やりがいと達成感を実感しながら奮闘しております。

最近の動向では、急速な高齢化に伴い利用者のご希望に沿って、在宅医療が受けられるよう、「入院から在宅療養への円滑な移行」の評価として、新たな制度が創設

されました。重症者であっても最期まで望まれる生活の場（ご自宅・有料老人ホーム等）で、訪問診療や訪問看護、他の介護サービス等の連携により、終末期を迎えられる方々が徐々に増加しているように思います。

今後、ますます退院調整機能の充実が必要だと感じております。

訪問看護を受けている利用者の多くは、居宅等住み慣れたところでの療養生活を望んでおります。その受け皿のひとつに訪問看護ステーションを利用していただきたいと考えております。

退院調整がスムーズに機能することによって、高齢者であっても自宅で独居療養生活が可能となっています。

訪問看護サービスについては、問い合わせいただければ入院先の病院、ご自宅を問わず訪問看護師やケアマネジャーが訪問し、内容等について説明をさせていただきます。

また、退院して療養しているご自宅に病院の退院調整看護師等と、訪問看護師が同行訪問することで、退院調整が充実されていくものと思っています。



訪問看護ステーションあきた

〒010-0914 秋田県秋田市保戸野千代田町16-16
Tel.018-853-4120 Fax.018-867-0054

訪問看護師： 常勤6名(管理者含む)、非常勤10名

介護支援専門員： 専任3名、兼務9名

事務職員： 常勤1名、非常勤2名

営業日： 月曜日～金曜日(祝日除く)

(年末年始休業12月29日～1月3日)

営業時間： 午前9時～午後5時

[24時間対応体制実施]



ポポロードに設置された看板とのぼり旗



秋田県民と集う 看護の日

テーマ

～誰もが持っている「看護の心」
どうぞその気持ちを
いつまでも、どこまでも～

平成21年**5月9日(土)** 10:00～15:30
会場●アルヴェ1F きらめき広場

内容報告

●**まのちの保健室** (なんでも相談コーナー)
健康相談、(血圧測定、骨密度測定、体脂肪測定)、
メタボリックシンドローム相談、
乳がん自己検診、薬の相談、栄養相談

●**ちびっこナース写真撮影コーナー**
「めんこい看護師になってみませんか」

●**特別講演** 「笑うあなたに福来たる」 石垣 政和 氏

●**アトラクション** 超神ネイガーショー&握手会

●**式典**

ふれあい基金贈呈式 21年度は次の5ヶ所の作業所等へ目録を贈呈
社会福祉法人ゆたか会つどいの家 ドリームカンパニーあゆみ(秋田市)
NPO法人はまなす会 ゆうゆう作業所(由利本荘市)
NPO法人工房JOYさあくる(大館市)
NPO法人秋田ふくしハートネット指定障害サービス事業所 愛仙さくら(仙北市)
スタートライン 不登校、引きこもり、いじめ問題に取り組む市民団体(湯沢市)

ふれあい基金既贈呈先訪問報告 (20年度に贈呈した施設3ヶ所の報告)
NPO法人ワークしののめ(能代市)
地域活動支援センターすまいる(男鹿市)
地域活動支援センターふれあい(大仙市)



毎年好評のちびっこナース写真撮影会です!



式典では県知事佐竹敬久様と、
県医師会長小山田雅様よりご祝
詞を頂戴した。

ふれあい基金を5ヶ所の施設へ贈呈いたしました。
明日からのパワーをいただけたと、皆さんとても喜んでおりました。
会員全員の「看護の心」がしっかりと届いていますね！



健康相談は今年も人気でした！
健康に気をつける人が増えることは良い事ですね！



秋田県内で広く活躍し、笑いを提供している石垣さん！
笑いでリフレッシュできた方も多かったでしょうね。



秋田のちびっこから大人を
元気してくれるネイガーたち！
元気な秋田にするためにこれからも頑張って！





リンデンバウムいずみ

看護と介護の
意志疎通の良さが
自慢です。

社会福祉法人「いずみ会」は、秋田市の中央に位置する泉地区に平成12年11月オープンしました。特養50名、ケアハウス40名、ショートステイ22名、通所介護30名、訪問介護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを有する複合老人福祉施設「リンデンバウムいずみ」と、平成14年11月開設した保育所90名、障害福祉サービスセンター（生活介護15名・自立訓練10名・就労移行15名・就労継続20名）、通所介護30名、生活支援ハウス20名、地域交流スペースを有する全国でも珍しい福祉複合施設「ウェルビューいずみ」の二つの建物で構成されております。



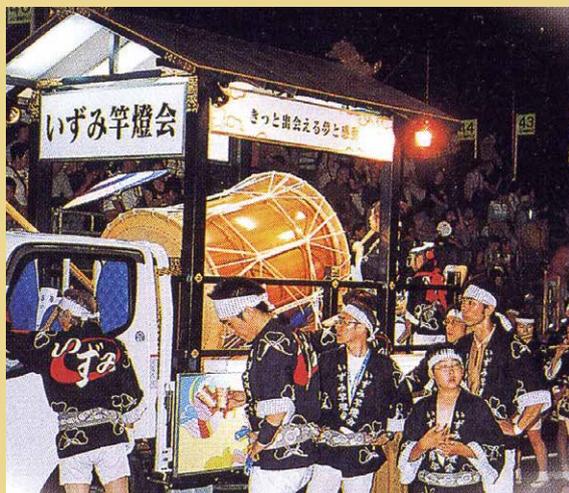
ウェルビューいずみ

平成19年には、オープン7周年を記念し理念の一つである「地域福祉貢献」の下、福祉の町泉町内と合同でできる「いずみ竿燈会」を立上げ、秋田竿燈まつりに参加させていただいております。

特養やデイサービスにはこども園のこども達が毎月訪問して、利用者の皆さんに元気をふりまいてくれます。

4階の展望風呂からは、正面に千秋公園、お天気によっては太平山や大森山、遠く鳥海山も眺望することができます。入浴と共に楽しみの一つになっています。

交通の便は勿論ですが、居室や廊下の広さ・全館冷暖房完備など環境面とあわせ、ともに委員会活動を行っていく中で、看護と介護の意思疎通がはかられ、互いの職能を尊重し合える関係が出来ていることが自慢です。と言ってもまだ9年目の若い施設、日々研磨を積んで質の向上に努力しております。



いずみ竿燈会

看護協会への

なんでもメッセージ

看護協会へのご意見・ご要望、看護あきたで取り上げてほしい話題・お知らせ等々、
なんでも結構です。ご自由に記入して、FAXで送信してください。

Large empty area with horizontal dashed lines for writing a message.

お名前	病院・医院名	
TEL	FAX	部署・部門名

社団法人 秋田県看護協会

FAX.018-835-9522

INFORMATION

事務局からのお知らせ

「医療安全に関する研修会」開催日程変更のお知らせ！

今年度の教育冊子にてお知らせしました標記研修会が、講師の都合により開催日を次のとおり変更いたしますので、ご留意下さい。また既にお申し込みいただいている方は、日程の調整等をお願いいたします。

変更後の日時：平成21年11月11日(水) 10:00～16:00

場 所◆秋田県総合保健センター 2階大会議室

テーマ◆「医療安全と看護職のメンタルヘルス」

神奈川看護協会 医療安全対策室 課長 安井 はるみ氏

定 員◆100名

受講料◆会員1,000円、非会員2,000円

会 場◆秋田県総合保健センター 2階大会議室

「秋田県看護学会参加費について」

11月14日(土)に開催される平成21年度秋田県看護学会については、「平成21年度教育計画」冊子で参加費2,000円とお知らせしておりますが、3月25日の理事会で3,000円への変更が決定されましたのでご理解下さるようよろしくお願いいたします。

上記事業の問い合わせは、事業部までどうぞ。

事業部直通 ☎018-831-8020 FAX.018-831-8023

E-mail; a.kango.kyouiku3@jupiter.ocn.ne.jp

訪問看護ステーションおおだてハチ公の移転について

「訪問看護ステーションおおだてハチ公」は大館市の都市開発計画により、現在の大町から次のところに移転し、7月13日から営業します。

[新住所] 〒017-0872 大館市片山町3丁目10-51 谷地田ビル2階
☎0186-44-5350 FAX.0186-44-5352

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。

編集後記

今年度より紙面をリニューアルし、平成21年度第1号の発刊となりました。今後も協会で行なわれている事業や各地区活動など多くの情報をより分かりやすく皆様に提供できるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお祈りします。「会員からのメッセージ」コーナーを新たに設けましたので、皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。(伊藤)

看護あきた Vol.96

平成21年度 1号

Nursing Akita



発行日/平成21年7月10日

発行責任者/(社)秋田県看護協会 会長

発行所/(社)秋田県看護協会 秋田市千秋久保田町6-6 Tel 018-834-0172

印刷所/秋田中央印刷(株) 秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577